

専門ゼミ A		演習	教授 柳澤 修	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130301	

1. テーマ

自然科学や社会科学のアプローチを用いて、「勝ち続ける」「機能している」競技スポーツ集団の条件を探る。

2. ゼミのねらい・概要

主にスポーツ医科学, 認知科学, そして社会心理学のアプローチを用いて, 競技スポーツ集団の“チームパフォーマンス向上”に寄与する要因を探る。専門ゼミ A では, スポーツ医科学や認知科学の手法を用いて, 体力・動作データならびに競技データ (選手のパフォーマンスデータやゲーム分析など) を評価し, 「競技力向上」や「個人スキルの熟達」, 「障害予防」などに繋がる因子を検討する。

3. ゼミ計画

1. ガイダンス (ゼミの概要や進め方, 注意事項について)	9. 文献検討と意見交換 (競技力向上)
2. 基礎知識の習得①: スポーツアナリスト	10. 文献検討と意見交換 (スポーツ障害予防)
3. 基礎知識の習得②: 体力データの測定と活用	11. 文献検討と意見交換 (ゲーム分析)
4. 基礎知識の習得③: 動作データの測定と活用	12. 文献検討と意見交換 (熟達)
5. 基礎知識の習得④: スキルデータの測定と活用	13. プレゼンテーション (グループ A)
6. 基礎知識の習得⑤: セイバーメトリクス	14. プレゼンテーション (グループ B)
7. 基礎知識の習得⑥: ゲーム分析	15. プレゼンテーション (グループ C)
8. 基礎知識の習得⑦: データ解釈と認知バイアス	

4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

プレゼンテーションの準備として, 文献内容の整理やパワーポイント資料の作成などに5時間程度が必要であろう。復習としては, 各回で扱ったテーマのポイントを整理し, 自身の「卒業研究」のテーマに活かせるようにしてほしい (1時間程度)。

5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

授業中のプレゼンテーションや提出物に対しては個別にコメントを行う。

6. ゼミにおける学修の到達目標

基本的概念の理解とともに, 4年次の卒業研究に活かせる専門的知識やデータの評価方法を身に付ける。

7. 成績評価の方法・基準

受講態度 (50%) ならびに提出物・プレゼンテーションの内容 (50%) で総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

ゼミ内容に関係する専門テキストや学術論文を授業中に適宜紹介・配布する。

9. 受講上の留意事項

- ・学術的な問いを積極的に解明しようとする姿勢を求める。
- ・受講マナー (授業中の私語やスマートフォン使用, 他者への迷惑行為などは厳禁) については十分注意すること。
- ・グループで実施する課題についてはお互いに協力して取り組むこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは、国内トップアスリートを対象とした研究機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。